

環境課からのお知らせ

《詳細》環境課 ☎22-1481

◆旧指定ごみ袋を販売します

市の発注の遅れにより、指定ごみ袋（20リットル・30リットル）の在庫が不足しています。

在庫不足が解消されるまでの間、代替品として旧指定ごみ袋を販売します。皆さまにはご不便をお掛けしますがご協力をお願いします。

販売種類	旧指定ごみ袋（燃やせるごみ）	・20リットル
	旧指定ごみ袋（燃やせないごみ）	・30リットル
販売価格	・20リットル：600円 ・30リットル：900円 （10枚入り、現在の価格と同じ）	
販売期間	令和5年11月30日まで	

お願い

- ・分別区分によって指定ごみ袋の種類が異なります。
- ・令和6年3月31日まで、旧指定ごみ袋は差額券を貼らずに使用できます。
- ※旧ごみ処理券を使用するときは、差額券が必要です。
- ・令和6年4月以降、旧指定ごみ袋を使用するときは、差額券が必要です。使い切れる枚数を購入してください。
- ・指定ごみ袋のばら売りを実施している店舗は、二次元コードから確認できます。



◆令和4年度のごみ・資源物の量とごみ処理手数料の使いみち

- ・1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は548グラムとなり、室蘭市一般廃棄物処理基本計画で定める目標値の506グラムを42グラム上回りました。ごみはリサイクルするだけでなく、必要のないものを買わないようにすることで減量につながります。ごみの排出量を減らすことで、家庭におけるごみ処理費を減らすなどの効果があります。
- ・ごみ処理手数料の収入2億5,960万円は、西胆振地域廃棄物広域処理施設（メルトタワー21）でのごみ処理や、リサイクルプラザでの資源物の選別・圧縮に充てられています。

令和4年度ごみ・資源物の量

（ ）内は前年度比

家庭系ごみ	15,488トン(-591トン) 1日1人あたり 548グラム	事業系ごみ	13,567トン(-629トン) 1日1人あたり 480グラム
燃やせるごみ	12,986トン (-317トン)	燃やせないごみ	2,502トン (-274トン)
燃やせるごみ	11,200トン (-505トン)	燃やせないごみ	2,367トン (-124トン)
資源物	982トン(-3トン)		
空き缶	219トン(-16トン) (アルミ缶 158トン スチール缶 61トン)	空きびん	477トン(+11トン)
ペットボトル	285トン(+2トン)	紙パック	1トン(±0トン)
使用済小型家電の回収量	51トン(+2トン)		

◆10月は「廃棄物適正処理推進月間」「食品ロス削減月間」です

○不法投棄は犯罪です

ごみなどを決められた場所以外に投棄、または、投棄しようとする行為は、処罰の対象となる場合があります。その場合、5年以下の懲役または1,000万円以下（法人の場合3億円）の罰金、または、その両方が科せられます。



市では、不法投棄パトロールを行っているほか、不法投棄を発見した場合は、警察などと連携し調査を行っています。不法投棄を見かけたときは、環境課までご連絡ください。

○ごみは正しく出しましょう

正しく分別されていないため収集されないごみが、ごみステーションに出されているとの苦情が寄せられています。

市では、収集できない理由を記載した赤色の啓発ステッカーを収集できないごみに貼付しています。啓発ステッカーが貼られているごみを出した人は、一度持ち帰り、正しい分別をしてからあらためて出してください。収集されない理由がわからない場合は、環境課までご連絡ください。

また、市LINEで分別方法を検索できます。



このごみは収集できません

■ 分別して（可燃、不燃、資源物、危険ごみ）
■ 指定ごみ袋・ごみ処理券を使用し
■ 1点につき1枚ごみ処理券を貼って
■ 差額券を貼って（不足しています）
■ 指定袋からごみをはみ出しています
■ 指定袋の口を縛って（飛散防止）
■ テープや紐で指定袋の口を縛らないで
■ 他の袋や箱に入れないで
■ 収集日が違います
■ 市では収集しないごみ

その他

室蘭市環境課 TEL:22-1481

○食品ロス

日本では年間約523万トン（令和3年度推計値）の「食品ロス」が発生しているとされています。10月は「食品ロス削減月間」、10月30日を「食品ロス削減の日」と定め、家庭における「食べきり運動」を推進しています。

食品ロス削減のため、一人一人ができることから始めましょう。

○食品ロスを減らすためにできること

- ・料理は食べきれぬ分だけ作り、残さず食べきる
- ・余った料理もリメイクして食べきる
- ・買い物に行く前に、冷蔵庫を確認する
- ・小分け商品やばら売り商品など、必要なものだけ買う
- ・賞味期限の近くなった商品を買う
- ・外食の時は、食べきれぬ分だけ注文する
- ・お店では、残った料理はお店に確認して持ち帰る

「食品ロス削減月間」に合わせ、昨年の10月にフードドライブを実施し、集まった食品を福祉団体などに寄贈しました。

今年度も実施する予定です。詳細は、市LINEなどでお知らせします。

